

近畿大学原子力研究所周辺における平常時モニタリングの実施範囲及び主な実施項目

目的	実施範囲	実施項目		採取・測定頻度	測定対象
①周辺住民等の被ばく線量の推定及び評価	原子力施設 近傍	空間放射線量率の測定		連続測定	γ線
		大気中の放射性物質の濃度の測定*	大気浮遊じん	3箇月程度連続採取 採取ごとに回収して測定	γ線放出核種
		環境試料中の放射性物質の濃度の測定	指標生物 (陸生植物)	大気中の放射性物質の濃度の測定結果において施設寄与が認められた場合に採取・測定	γ線放出核種
②環境における放射性物質の蓄積状況の把握	原子力施設 近傍	環境試料中の放射性物質の濃度の測定	土壌	大気中の放射性物質の濃度の測定結果において施設寄与が認められた場合に採取・測定	γ線放出核種
			底質	1年に1回程度測定	γ線放出核種
③原子力施設からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価	原子力施設 近傍	空間放射線量率の測定		連続測定	γ線
		大気中の放射性物質の濃度の測定	大気浮遊じん	連続測定	施設起因の人工放射性核種

※ 大気中の放射性物質の濃度又は空間放射線量率の連続測定結果が上昇し、施設寄与が認められた場合（施設寄与があった可能性を否定できないと判断した場合を含む。）には、被ばく低減を考慮しつつ、直ちに試料（大気浮遊じん）を回収し、γ線放出核種の濃度の測定を行う。